

細菌・真菌同定検査のご案内

食品や医薬品の製造工程の管理において、微生物による汚染の原因究明は衛生管理上、非常に重要です。弊社では、生化学的性状による手法だけでなく遺伝子解析も取り入れております。多角的な視点から微生物の同定結果をご報告しております。

微生物による汚染の原因究明にぜひご利用下さい。

検査項目

検体が菌株（分離された菌）の場合



検査項目	検査対象物	検査料金（税別）	納期
細菌・真菌同定	菌株	15,000円	5~16日

◆ 特徴 ◆

①生化学的手法だけでなく遺伝子解析も取り入れています。

（遺伝子解析を実施するか、生化学的性状試験を実施するかにつきましては、検出された菌により、弊社にて選択します。常に遺伝子解析を実施するわけではありません。）

②菌種名のご報告だけでなく、同定菌の資料も添付します。

（弊社のデータベースにない菌種の場合、資料作成にお時間を頂く場合があります。）

- ・ 1菌株での料金になりますので、培地に複数菌株が存在する場合は検査対象菌株を確認させて頂きます。
- ・ 病原性が高い微生物の場合は検査をお断りすることがあります。
- ・ 検査実施し、同定に至らない場合、同定不能とご報告致します。料金は発生致しますのでご了承下さい。
- ・ 菌種同定に至らない場合は属名等のご報告となります。
- ・ 通常、報告書には写真やシーケンスデータは付加しておりません。必要な場合は予めお問い合わせください。



検体が製品（食材、水、拭取り検体等）の場合

- ・ 製品（食材、水、拭取り検体等）から直接同定検査を行うことはできませんので、別途、菌数測定のご報告が必要となります。料金等詳細はお問い合わせ下さい。
- ・ 菌が検出されない場合は同定検査には進めませんので、菌数測定の料金のみ発生します。

株式会社ファルコバイオシステムズ ライフサイエンス部

〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井西荒見17-1

TEL 0774-30-9231

FAX 0774-30-9233

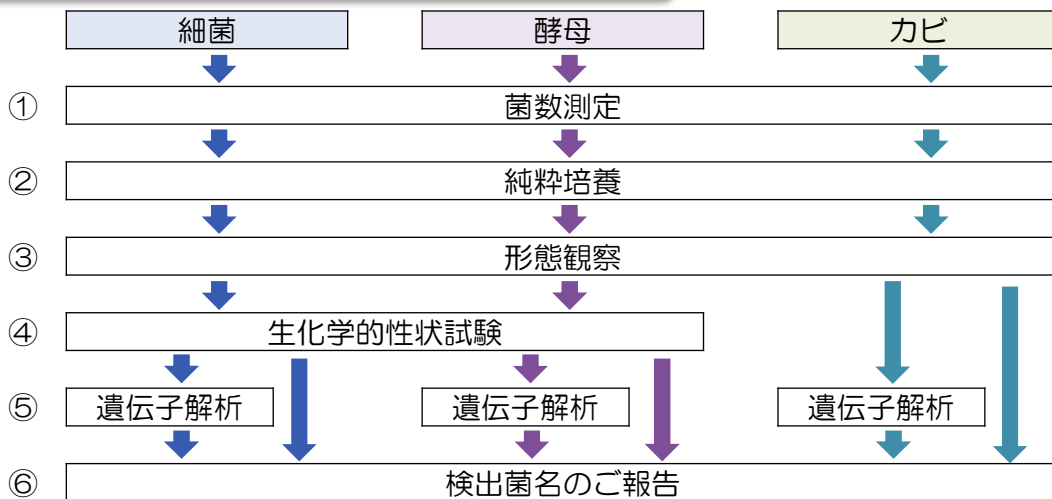
e-mail : fls.info-als@falco.co.jp

URL : <http://www.falco-life.co.jp/>

細菌・真菌同定検査のご案内

検査の流れ（食品、水、拭取り検体などの場合）

※菌株の場合は、②からの検査開始となります。



検査内容

① 菌数測定	食品、水、拭取り検体では、直接同定検査を行うことができませんので、培地上で菌を生育させる必要があります。細菌の同定を実施希望の場合は一般生菌数を、酵母の場合は酵母数を、カビの同定を実施希望の場合はカビ数をあらかじめご依頼下さい。
② 純粋培養	菌数測定では菌が混在して検出される場合がありますので、様々な培地を使って菌を分離します。
③ 形態観察	集落および細胞の形態を、肉眼および実体顕微鏡や光学顕微鏡にて観察します。
④ 生化学的性状試験	菌の炭水化物の利用や酵素の産生の有無等をキット等を使って確認します。
⑤ 遺伝子解析	日本薬局方収載の「遺伝子解析による微生物の迅速同定法」に準拠した検査を実施します。相同性検索には公共のデータベース（NCBIなど）を使用します。 細菌：16S rRNAの一部（約500bp）をシークエンス解析 真菌：18S rRNA と5.8S rRNA間のスペーサー領域（ITS1）をシークエンス解析
⑥ ご報告	検出菌名のご報告および検出菌の資料を添付します。

報告書例

添付資料例